

平成20年2月

# 前田和範 学位論文審査要旨

主査	山田一夫
副主査	長谷川純一
同	村脇義和

## 主論文

Preventive effects of ME3738 on hepatic fibrosis induced by bile duct ligation in rats

(胆管結紮ラットでのME3738の肝線維化抑制効果)

(著者：前田和範、孝田雅彦、的野智光、杉原誉明、山本了、植木賢、村脇義和、  
山下宣之、西山省二)

平成20年 Hepatology Research 掲載予定

## 審査結果の要旨

本研究は、胆管結紮(BDL)ラットを用いてME3738の肝線維化抑制効果を検討したもので、ME3738投与により肝星細胞の活性化が抑制され、肝Hyp量、肝線維化面積、I型コラーゲンmRNA発現が減少することを明らかにした。肝星細胞の活性化抑制の機序として、酸化ストレスおよびTGF- $\beta$ やIL-6のサイトカインを検討したが明らかな変動を認めなかったが、HO-1がmRNA、および蛋白質レベルで有意に減少していたことより、ME3738が抗酸化的に作用した可能性が示唆された。本研究は、胆汁うっ滞による肝線維化をME3738が抑制することを明らかにしたもので、肝線維化治療の面で明らかに学術水準を高めたものと認める。